

開催日：令和8年5月17日（日）

実施内容：「森林文化と里山・山地の植物」「植物観察・同定」

会場：昭和万葉の森（大衡村）ほか

出席者：受講者 32人

講師：宮城県森林インストラクター協会 5人

### 【午前の部】

#### 講義1 「日本人と植物の関わり」

- ・江戸時代から現代までの林野利用の変遷や、焼畑・育成林業など、日本人と森林との関わりについて学びました。

#### 講義2 「樹木の基礎」

- ・樹木を見分けるための基本的な観察ポイントや、植物観察時の心得について学びました。
- ・葉の形や付き方、樹皮の特徴など、樹木同定の基本を学び、身近な樹木をよく観察することの大切さについて理解を深めました。

### 【午後の部】

#### 実習 「植物観察実習」

- ・昭和万葉の森で植物観察を行い、コナラ、クヌギなど里山を構成する樹木を実際に観察しながら、植物の特徴や森林の階層構造について学びました。



班ごとに分かれて植物観察を実施



樹木同定のポイントを学習



葉や樹皮の特徴を確認



受講者同士での意見交換